

7 平成30年度原子力防災訓練実施状況

2県6市共同による島根原子力発電所対応の原子力防災訓練を平成30年度も実施。
 (共同訓練実施は平成30年度で8回目、うち実動の住民避難を伴う訓練は7回目)

【平成30年度訓練実施状況】

- ① 訓練参加機関・参加者数: 45機関、約950名(うち住民約180名)
- ② 訓練日程及び内容

実施日	参加機関・参加者	訓練内容
10/26	11機関・約190名	本部等運営訓練、OFC運営訓練、緊急時モニタリグ訓練
10/27	9機関・約170名	住民避難訓練、医療関係者緊急輸送訓練、避難行動要支援者避難訓練
10/30	33機関・約590名	住民避難訓練、避難行動要支援者避難訓練、原子力災害医療活動訓練、広域医療搬送実機研修、避難所開設訓練等

※他に、当県独自で8月30日に図上演習を、8月18日船舶避難訓練をそれぞれ実施

③ 本年度の訓練の特徴と成果

- 複合災害を想定した訓練を実施し、災害対策本部内での情報共有及び対策検討に係る対応手順を確認できた。
- 聴覚障がい者や外国人の避難を想定し、避難退域時検査に関する平易な資料を作成し会場内に掲示した他、検査会場において翻訳アプリの活用や筆談による意思疎通を行う訓練を実施した。
- 航空自衛隊の協力の下、新たに配備された大型輸送機(C-2)を活用した入院患者の輸送手順を確認するとともに、災害医療派遣チーム(DMAT)が参加しての実機研修を実施した。

7 平成30年度原子力防災訓練実施状況

住民避難訓練は10/30に実施(船舶のみ8/18)

船舶避難訓練概要

日時:平成30年8月18日(土)7:00~正午
 場所:境港、鳥取港 等
 参加機関等:鳥取県、海上自衛隊、境海上保安部、米子市、境港市 等
 ※訓練参加者は約120名(一般住民15名含む)

<訓練の流れ>

- 本部等運営、広報・伝達、緊急時モニタリグ
 - ・対本部会議、島根県知事等とのTV会議、広報・情報伝達等
 - ・モニタリグ本部の設置、情報伝達等
- ↓
- 住民避難
 - ・多様な避難手段(バス、JR、船舶、航空機)の活用
 - 【JR】補完的な住民輸送(下車駅と検査会場まではバスで輸送)
 - 【船舶(境港→鳥取港)]住民の緊急避難等
 - 【航空機(美保分屯地・米子駐屯地→鳥取空港、避難退域時検査会場等)]
 - ※航空機は緊急的に迅速な避難を行う必要のある住民等を想定
- 避難行動要支援者避難
 - ・航空機の活用
 - 【航空機(美保基地→鳥取空港)]重篤患者の搬送
 - ※緊急に搬送を要する入院患者等を鳥取空港(ダミーの行き先)として使用
- ↓
- 原子力災害医療活動
 - ・原子力災害医療、避難退域時検査、安定ヨウ素剤配布等 等

弓ヶ浜半島の特性

- ・道路が南北にしかなく避難の際には同方向に避難が集中する。
- ・半島付け根部分に人口が密集しており、人口密集地を通過し避難する
- ・島根県から避難住民が合流することから、万が一の場合大渋滞が予想される。



7 平成30年度原子力防災訓練実施状況

(10/26・10/27 訓練実施写真)



2県6市テレビ会議(10/30)



本部等運営訓練(現地対策本部)



OFC運営訓練



モニタリング本部運営訓練



機動モニタリング訓練



陸自大型ヘリによる避難訓練

7 平成30年度原子力防災訓練実施状況

(10/30 訓練実施写真)



車両除染訓練



車両検査訓練



避難退域時検査訓練



広域避難所設置・運営訓練



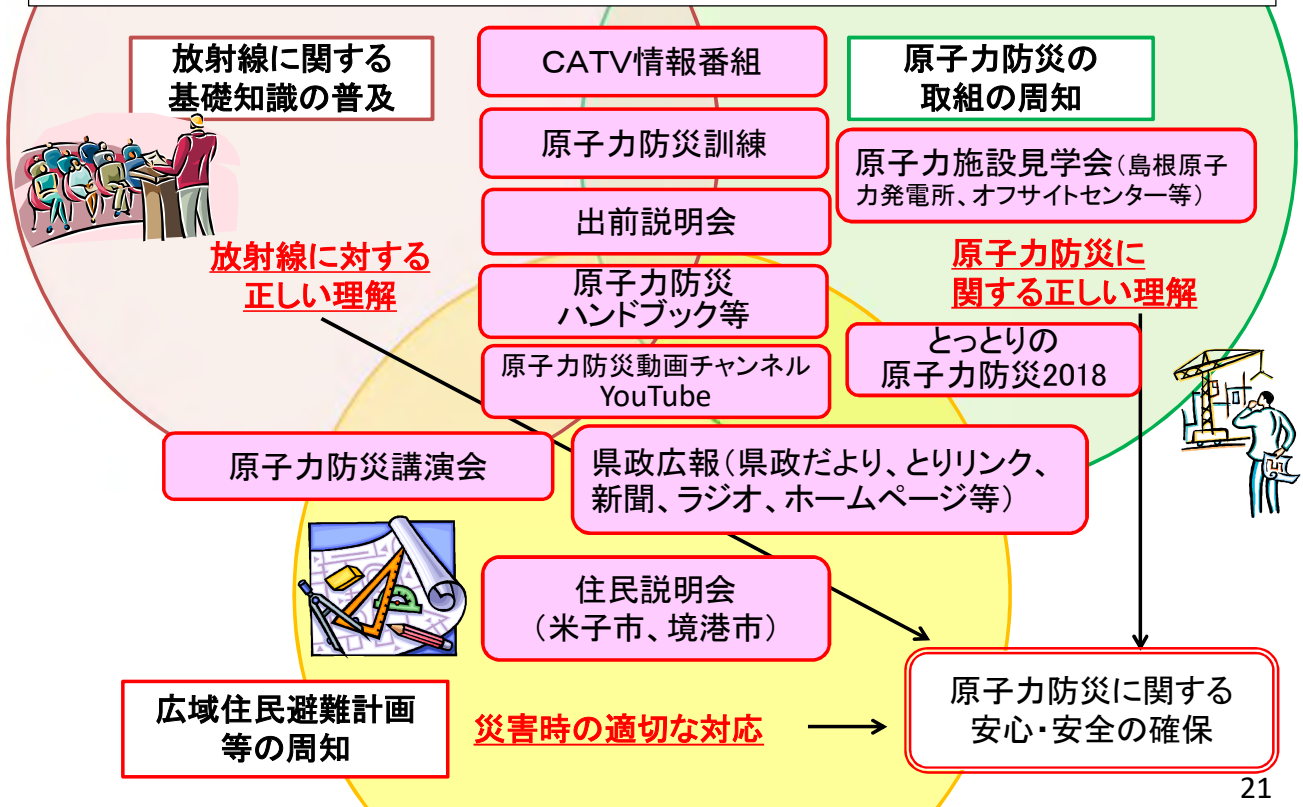
避難行動要支援者避難訓練



空自C-2輸送機による医療機関入院患者輸送訓練

8 住民等への普及啓発

原子力防災対策については、住民の放射線に対する正しい理解と防護対策への共通の理解が重要であるため、普及・啓発活動をPull型・Push型など様々な形で実施



21

8 住民等への普及啓発

I 原子力防災講演会(全県民対象・平成24年1月～)

放射線や放射線防護などについて学び、県民の方が原子力災害時に適切な対応や行動〔外部被ばく・内部被ばくへの注意、屋内退避の有効性、避難等〕がとれるようにするため、県民を対象とした原子力防災講演会を開催。

この講演会は、福島第一原子力発電所事故後毎年開催。

開催状況	
日時・会場	7月8日(日) 10:30~12:30 境港市保健相談センター
参加者	県民等80名
内容	〔演題〕「原子力災害時の対応方法」 〔講師〕 東京大学特任専門員 飯塚 裕幸 氏 ※講演会場に移動式ホールボディカウンタ車を展開するとともに、講演会参加住民を対象に模擬測定訓練も実施。
実施体制	主催：鳥取県、米子市、境港市 後援：県内西部町村



▲講演会開催の様子



▲移動式WBC車による測定訓練

※本講演会は平成29年度から米子・境港両市で年間各1回ずつの開催としていましたが、平成30年度は米子市開催時、大雨に伴う避難勧告が発令されたため中止しました。

22

8 住民等への普及啓発

II 放射線研修会(東部・中部地域の住民及び行政職員を対象)

原子力災害発生時の円滑な住民避難のためには、避難先地域の住民等への放射線や原子力災害、広域避難に関する理解促進も重要であることから、避難先として計画する、県東・中部地域の住民、市町や県の職員を対象として研修会を開催(平成25年度から)。

【平成30年度開催実績】

	県中部地域	県東部地域
日 時	7月31日(火) 13:30~15:10	8月1日(水) 10:30~12:10
会 場	駅パル倉吉 多目的ホール	県東部庁舎 第202会議室
内 容	〔演題〕原子力災害時による影響とその教訓を考える(原子力災害時の対応方法) 〔講師〕岡山大学医学部保健学研究科 教授 山岡 聖典氏	
参 加 者	中部地域の市町・県職員等 32名  ▲中部会場開催の様子	東部地域の市町、県職員等 28名  ▲東部会場開催の様子



23

8 住民等への普及啓発

III 原子力防災現地研修会(全県民対象・平成24年度~)

原子力発電や原子力防災について、県民の方に実際に現地を目で見て理解していただくため、島根原発等の関連施設の見学を含めた原子力防災現地研修会(見学会)を年間3回開催。

【平成30年度の開催状況】

	第1回	第2回	第3回
日 時	4月22日(日) 10:30~15:30	8月5日(日) 10:40~15:30	11月1日(木) 10:30~15:20
参 加 者	県民 14名	小中学生とその保護者 39組80名	県民 36名
研修先・研修内容	島根県原子力防災センター 【研修内容】 ・放射線の基礎、原子力防災に関する研修 ※第2回は小中学生向けとして実施し、大学講師を招き、実験などを行いながら理解できる内容を設定。 (右写真：第2回実施時の放射線測定器による測定体験の様子)		
	島根原子力発電所・島根原子力館(広報施設) 【研修内容】 ・発電所の見学等を通じた原子力発電及び発電所の安全対策に関する研修 (右写真：中国電力広報施設での見学の様子)		

24

8 住民等への普及啓発

IV 避難先・避難経路確認訓練(平成27年度～)

広域住民避難計画に記載する避難経路、避難退域時検査会場、避難先施設等を実際に視察し広域避難に関するイメージを掴んでいただくとともに施設の状況を確認する住民参加の訓練を実施。

【平成29・30年度実績】

参加地区・人数	日時	行程等
米子市住吉地区住民 34名	3月10日(土)	【視察行程】 一時集結所 ⇨ 避難退域時検査会場 ⇨ 避難先施設 ・ 移動については広域住民避難計画で設定する広域避難ルートを使用して移動し、移動に要する時間などを体感。 ・ 避難先施設到着後は、施設の内・外観を視察するとともに、施設管理者や地元自治体の防災担当者から施設の特徴や周辺環境(医療機関や店舗の所在状況)の説明を受け、広域避難時の滞在イメージを持ってもらえるよう取り組んでいます。
境港市誠道町住民 20名	4月8日(日)	
境港市中浜地区 (財ノ木町)住民 37名	9月2日(日)	
米子市富益地区 (西中自治会)住民 20名	9月23日(日)	



▲訓練時の視察・説明聴講の様子▲

25

8 住民等への普及啓発

V CATVによる防災情報の提供(平成29年9月～)

(1) 目的等

原子力防災対策や日ごろの備えなど、県民(特にUPZ)に知っていただきたい内容を紹介するほか、原子力防災訓練の実施などの情報を中海テレビで放送し、普及啓発を行う。

(2) 情報番組の内容等

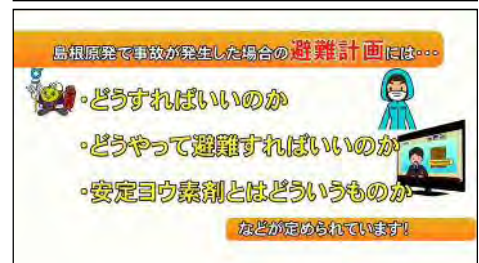
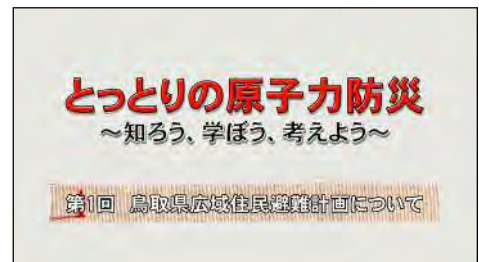
ア 番組名 とつとりの原子力防災 ～知ろう、学ぼう、考えよう～
 イ 放送回数等 週2回以上。年間計100回以上。番組の長さ2分

(3) 放送終了後、放送番組は県の「動画チャンネル」で閲覧可能

【平成30年度放送内容】



年月	原子力防災情報	今月のお知らせ
平成30年	1月 避難退域時検査	原子力防災アプリ
	2月 安定ヨウ素剤	避難計画の修正(パブコメ)
	3月 原子力災害医療	2号機の審査状況等
	4月 環境放射線の測定	地域防災計画等の修正
	5月 広域住民避難計画の修正	原子力講演会
	6月 原子力災害医療体制	原子力防災訓練(船舶)
	7月 モニタリング結果	第2回原子力発電所現地研修会
	8月 原子力環境センターの紹介	2号機の審査状況
	9月 広域住民避難計画避難場所の紹介	原子力防災訓練の実施
	10月 島根原発1号機廃止措置の状況	第3回原子力防災現地研修会
	11月 広域住民避難計画(避難方法)の紹介	鳥取県原子力防災アプリ
	12月 県民への情報伝達手段等の紹介	2号機の審査状況



26

8 住民等への普及啓発

VI 原子力防災ハンドブック、とっとりの原子力防災2018

- 原子力災害時の対応や放射線の基本的な知識の普及啓発のための広報紙、「原子力防災ハンドブック」を改訂。UPZ圏内の他、避難先となる県内市町村の住民向けにも配布を実施。
- 当県がこれまでに実施した原子力防災・安全対策に関する施策等をまとめた、「とっとりの原子力防災」を改訂し防災関係機関等へ配布。
(※いずれの広報資料も平成25年度に初版作成。以降毎年度改訂。)



データは原子力安全対策ホームページ(<http://www.genshiryoku.pref.tottori.jp/>)に掲載